

## 平成28年度教育事業

### 「AWAJIたいけんフェスタ」～淡路の体験プログラムを満喫しよう～ 実施報告

- 1 趣 旨 国立淡路青少年交流の家で実施しているプログラムを指導者等が体験し、その目的や内容についての理解を深める。  
また、親子等を対象に創作活動や体験プログラムの機会を提供する。
- 2 主 催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立淡路青少年交流の家
- 3 日 時 平成29年3月24日（金）、25日（土）
- 4 場 所 国立淡路青少年交流の家
- 5 対 象
  - ・自然学校担当等の教員や、交流の家を利用予定の方
  - ・体験プログラムに興味のある親子 等
- 6 参加者 45名

#### 7 内容等

##### <3月24日（金）>1日目（18：30～20：00）

##### ●キャンドルのつどい（講堂）

- ・参加者10名（3家族）、職員2名、ボランティア2名の参加
- ・講師：当施設研修指導員1名

まずは、キャンドル作りから行った。そのままでは、ろうが垂れてしまうので「ろう受け」を付けた。キャンドルのつどいは、火を迎える儀式、交流を深める時間、火を送る儀式の3部構成で実施された。火を迎える儀式では、ボランティアが営火長と女神を務めた。その後の交流を深める時間では、集合ゲーム、ラインナップ、ダンス、じゃんけんゲーム等のアクティビティで参加者も楽しく活動することができた。指導員の軽快でユーモアたっぷりのおしゃべりに参加者も大盛り上がりであった。火を送る儀式では、一人ひとりにキャンドルが手渡され、指導員の話のもと、火を見つめながら落ち着いた雰囲気これまでの生活をふりかえることができた。

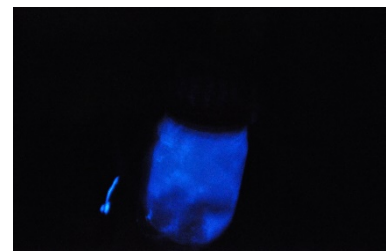


##### ●ウミホテル観察（阿万海岸）（18：30～20：00）

- ・参加者27名（9家族）、職員4名、ボランティア4名の参加
- ・5時間前に予備の捕獲用ピンを2つ設置

夜の阿万の町を歩きながら、「ウミホテル見えるかな?」「楽しみ!」等、家族との会話が聞かれ、気持ちが高揚しているのが伝わってきた。阿万海岸に到着して、捕獲用のピンの準備、ピンの投げ方等の指導を再度行った。海に投げ入れるのは大人の方をお願いした。海に沈める時間が30分は必要なので、待っている時間が手持ちぶさたになるのではと懸念していたが、親子で話をしたり、ボランティアと触れ合ったりしながら楽しい時間を過ごすことができた。今の時期はウミホタ

ルが捕獲しにくらしく、たくさんは捕獲できなかったが、予備のピンでたくさんのおミホタルが捕獲できていたので観察することができた。「きれい!」「すごい!」等の歓声があがった。



## <3月25日(土)>2日目(9:00~12:00)

### ●砂の造形(吹上浜)

- ・参加者27名(7家族)、職員4名、ボランティア6名
- ・グループに分かれ、お互いに評価をし、順位を決めるコンテスト形式

お天気は曇りでやや寒かったが、風がなく制作への影響は感じられなかった。家族単位というよりは作りたいもの同士でグループが形成されている様子であった。山を作ったり、穴をほったりしながら用具の使い方に慣れ、イメージがわいてきたところで作業に取りかかった。「四つ葉のクローバー」「ケーキ」「ライオン」「かめ」「ピラミッド」「遺跡」等、思い思いの作品を仕上げることができた。コンテスト後、ボランティアの提案で、3月に誕生日を迎える参加者のお祝いをした。「ケーキ」の作品の前で、流木をろうそくに見立ててバースデーケーキを作り、全員でハッピーバースデーを合唱した。あたたかい雰囲気のもと、砂の造形を終えることができた。昼食までの残りの時間は、浜辺を散策したり、つどいの広場でおにごっこをしたりして楽しく自由時間を過ごした。



### ●クラフト(お香づくり等)

- ・参加者32名(10家族)、職員4名、ボランティア6名
- ・お香づくりが終わった参加者からストーンペインティングの制作

今回の「たいけんフェスタ」で最大人数の参加があった。まず、淡路島とお香とのかかわりについての話があった。その後、職員から作り方の説明や諸注意があり、お香づくりに取り掛かった。最初、お香の粉末に水を加えて乳鉢で均一にこねる作業があるのだが、結構力を必要とするので、幼児には困難とされていたが、大人の助けを借りながら、集中して熱心にこねる姿を見ることができた。「かたーい(硬い)!」「これでいいの?」等、子どもたちから声が上がリ、家族や職員、ボランティアのみんなと楽しくふれあえる時間にもなった。お香づくりが早く終わった子どもたちはストーンペインティングに取り掛かった。思い思いの絵を描いて楽しい時間を過ごすことができたようであった。たくさんのお土産ができ、親子共々喜んでた。



## 8 参加者アンケートより

### ○キャンドルのつどい

- ・安全面の配慮をされていて良かったです。
- ・後でウミホテルも見えたそうです。ありがとうございました。

### ○ウミホテル観察

- ・自然と触れ合えて楽しめました。
- ・安全面への配慮などしっかりして頂いて、安心して取り組みました。タダ・・・寒かったあー（涙）
- ・ウミホテルが光るモノを出すというのをはじめて知りました。キレイだったし、子どもたちも喜んでいました。夜道を歩くのもめったにしないので、楽しいようでした。
- ・ウミホテルを見るのは初めてだったので、参加して良かった。
- ・寒い時期だったので海辺は少し寒かったです。でも子どもも楽しく参加してたので良かったです。（ハート）
- ・（ボランティアが）娘に父親代わりのように良くして頂いてありがとうございました。

### ○砂の造形

- ・思い思いの作品が仕上がり、良かったです。
- ・何を作るか？何でもよい？子どもの思考力のなさを痛感した。もう少し自ら考え、行動出来る人になって欲しいと思った。
- ・楽しかったです。
- ・大人でも夢中になり楽しめました。
- ・砂で初めて造形をしたので少しむずかしそうでした。が、進めていくうちに楽しくなっていたようです。
- ・作品の紹介を代表の子が一つ一つしても良かったのかなあと思いました。メダルはとても記念になりました。
- ・寒かったけれども子どもたちがとても楽しんでいい企画でした！！
- ・初対面の子どもたちの一致団結がすごい。普段では味わえない。

### ○クラフト（お香づくり等）

- ・とてもよかったです。大家族なのでお手伝い下さり助かりました。ありがとうございました。
- ・集中して子どもが楽しんでいたので良かった。
- ・お香づくりは初めてでとても楽しかったです。石のアートの方もいい感じでした。自分で拾ってきて描くプログラムでも良かったと思います！
- ・お香、子どもたち、ちゃんとするかな？と心配でしたが、集中してました。
- ・お香づくりは思ったよりもむずかしくて大変でした。次はちゃんと作ります。
- ・初めての経験ができてよかった。
- ・力のいる作業だったので、子ども一人ではやり遂げることが難しかったかもしれないが、ボランティアや職員の方々に手伝ってもらって娘としてはやり遂げた感があったようです。
- ・お香をたくたびに淡路の話になると思います。説明もていねいで分かりやすいです。

### ○全体を通して

- ・ボランティアの学生さんがいつも笑顔でやさしく対応してくださっていて、やさしい空気の中で自由にのびのびとすごさせてもらったと思います。

- よく遊んでくれました。最後（卒業）と聞いて寂しいです。皆様ありがとうございました。
- （生活上、）全く困りませんでした。
- 食堂にスロープを設置していて良かった。

## 9 成果

### 【参加者募集について】

当初、参加者の対象を現場の教員や当施設の法人ボランティアをメインに設定していたが、募集を始めると家族単位での申込みが殺到し、ファミリー向けの事業となった。募集をかけた（情報を公開した）タイミングや事業の実施期間、直近の他の事業とのかかわり等の原因が考えられるが、ターゲットを先生やボランティアにするのであれば、募集方法を検討しなければならない。

### 【プログラムについて】

各プログラムへの参加者の感想はアンケートに記されているとおりだが、ボランティアのふりかえりでも出た内容についても、事業参加者に十分周知できるような手立てを講じる必要がある。プログラムのより分かりやすい説明の仕方、用具・道具の事前準備、参加者への事前案内の徹底、幼児対応、リスクマネジメント等、事業後の課題は次回の糧とし、よりよい事業やプログラムの実施につながるよう今後改善していきたい。

### 【ボランティアについて】

今回の教育事業でもアンケートの記述や参加者の声から、ボランティアスタッフの笑顔ややさしさ、子どもとのかかわりについてたくさんの方々から言及していただいている。これは、今年度一年間の成果ではなく、淡路のこれまでの取り組みの賜物である。職員と違った目線や距離感で参加者とかかわることができる法人ボランティアの存在感や必要性を再確認する機会となった。今後とも法人ボランティアの皆さんと一致団協力し、教育事業の更なる充実を図りたい。

「砂の造形」の終盤、作品づくりやコンテストが終了した時にあるボランティアから「このケーキの作品のまわりに集まって！」という声がかかった。今月が誕生日の子ともたちをお祝いしようという提案であった。「ハッピーバースデー、ディアみんな～！」大きな歓声、あたたかい拍手、たくさんの笑顔に恥ずかしそうに、しかし、とてもうれしそうに喜び子どもたち……。事業期間中は終始、春の日差しのようにあたたかく、そして和やかな雰囲気であった。